

地域経済分析システム（RESAS）について

地域経済の「見える化」に向けた取り組み



令和3年2月8日

経済産業省 地域経済産業調査室

RESAS（地域経済分析システム）の概要

- 地方創生版・三本の矢の「情報支援」として、2015年4月より提供開始。
- 地域経済を活性化する上で、地域の現状・実態を正確に把握し、将来の姿を客観的に予測し、地域の実情・特性に応じた施策の検討とその実行が不可欠。
- そこで、地域経済に係わる様々なビッグデータを収集し、分かりやすく「見える化」するシステムを構築し、**効果的な施策の立案、実行、検証（PDCA）を支援**。勘や経験や思い込み（KKO）ではなく、**データに基づく政策立案（EBPM）を推進**。

①人口マップ



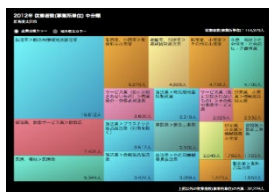
人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出等が地域ごとに比較しながら把握可能

②地域経済循環マップ



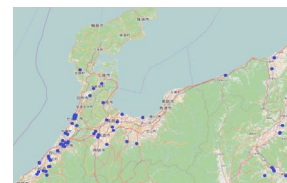
自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能

③産業構造マップ



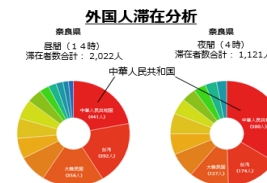
地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能

④企業活動マップ



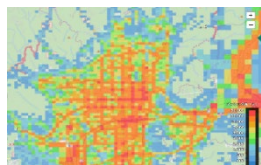
地域の創業比率や黒字赤字企業比率、特許情報等が把握可能

⑤観光マップ



国・地域別外国人の滞在状況等のインバウンド動向や、宿泊者の動向等が把握可能

⑥まちづくりマップ



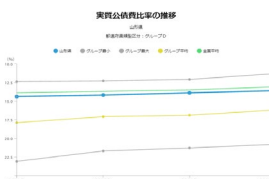
人の流動や事業所立地動向、不動産取引状況など、まちづくり関係の情報把握可能

⑦雇用/医療・福祉マップ



地域の雇用や医療・介護について、需要面や供給面からの把握が可能

⑧地方財政マップ



各自治体の財政状況が比較可能

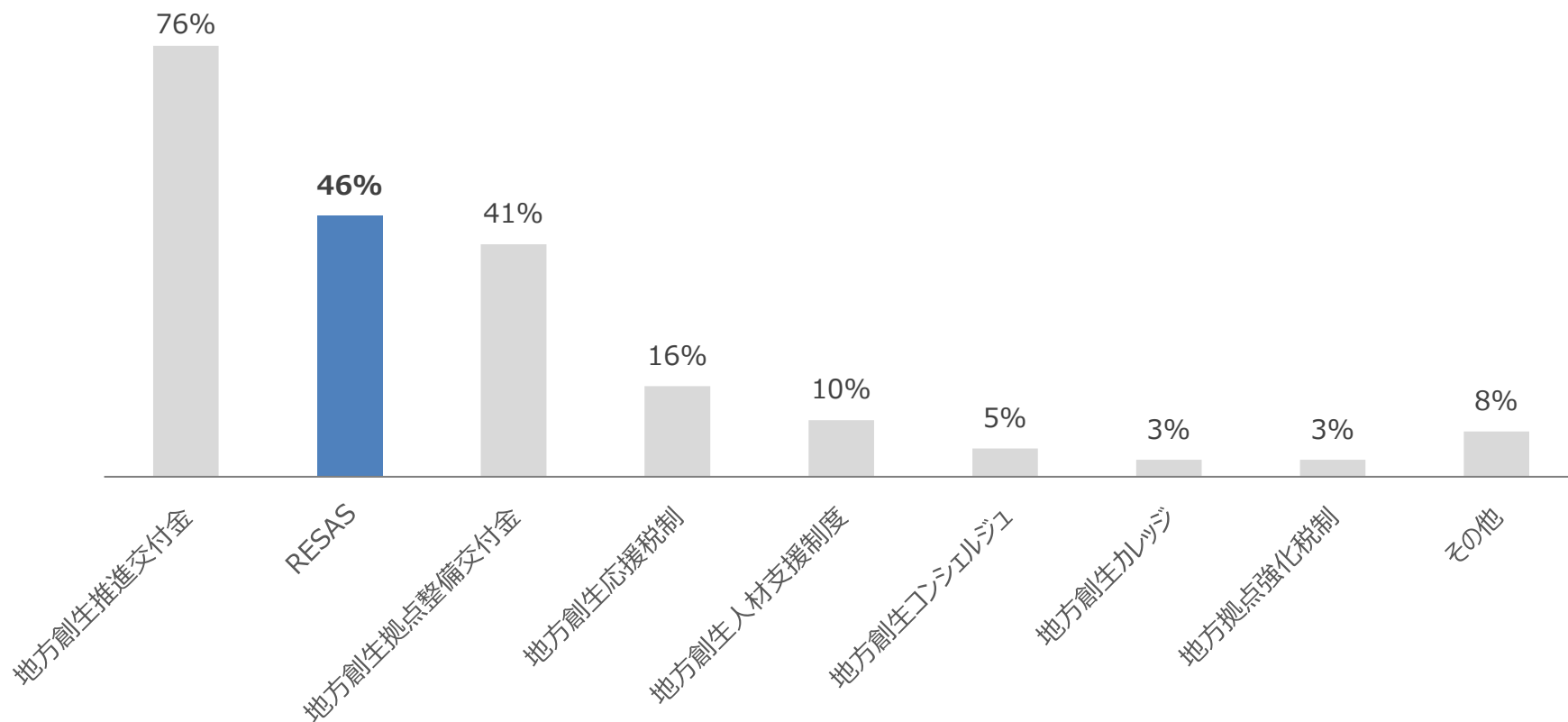
○総メニュー数の推移

スタート時 (2015年) → 現在 (2021年1月)
25メニュー → 81メニュー

これまでのRESASの評価①

- 役に立ったと感じている国の地方創生関連施策として、「地方創生推進交付金」に次ぐ約46%の自治体がRESASを挙げている。

役に立ったと感じている国の地方創生関連施策

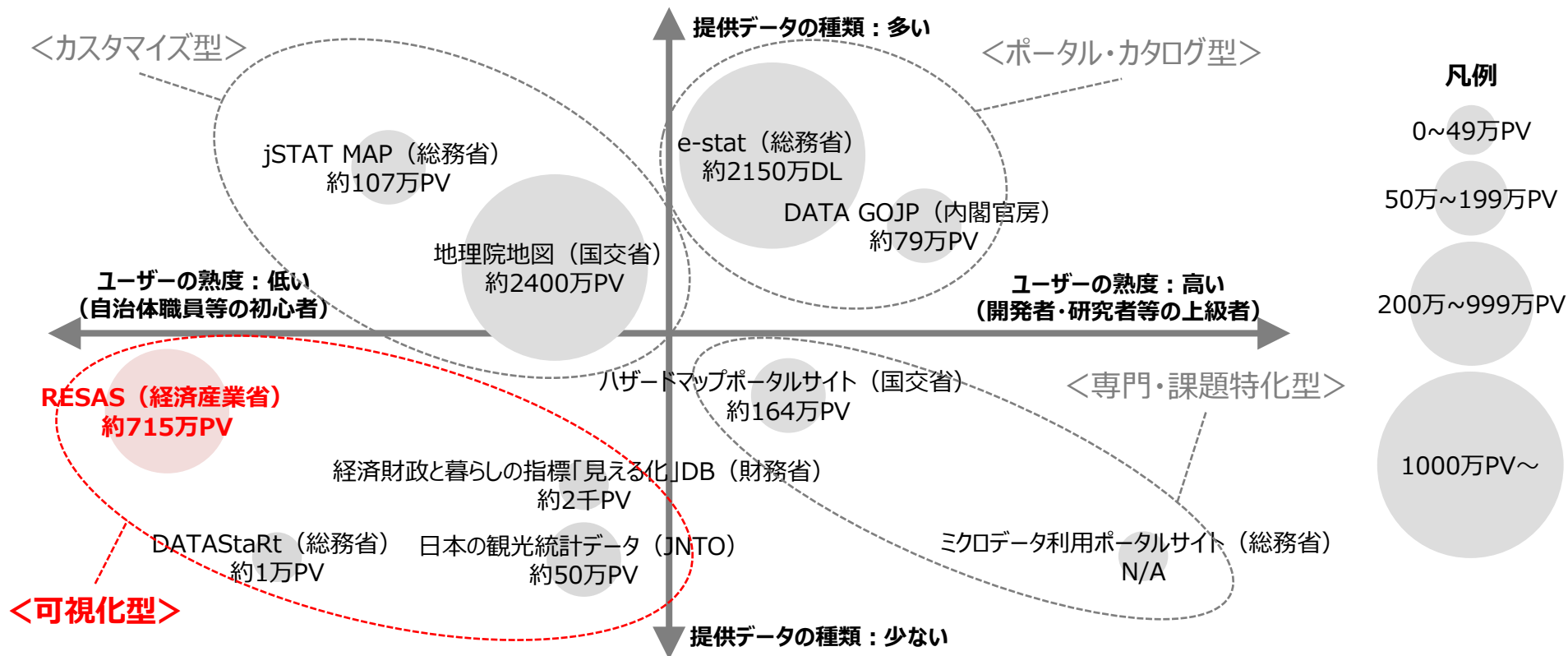


資料：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「地方版総合戦略等の進捗状況等に関する調査結果（H31.3.27）」

これまでのRESASの評価②

- 政府が提供する主要なデータ利活用支援ツールを、ユーザーの熟度と提供データの多寡に応じて整理すると、RESASは、自治体職員をはじめとするデータ活用の初心者向け（可視化型）のツールとしては圧倒的なPV数（約715万PV）。

各ツールの位置づけ



資料：内閣官房「地方公共団体のデータ利活用に関する調査（令和2年3月）」より作成

RESASにおけるデータ・機能の拡充

- 地域の魅力ある資源をデータ化し、地方創生・地域経済活性化を情報面から支援すべく**データを拡充**。
- データ分析の「入り口」として誰もが簡単に使えるよう**操作性を高めるための機能を拡充**。

2015年～ RESASリリース

<地域経済が見える化>

- 地方創生版・三本の矢の「情報支援」として、2015年4月にリリース。（まち・ひと・しごと創生総合戦略2015改訂版）
- 4マップ25メニューから提供開始
 - 産業マップ
 - 観光マップ
 - 人口マップ
 - 自治体比較マップ

2016～2018年 マップ・メニューの拡充

<新設5マップ>

- 地域経済循環マップ
 - 地域経済循環図など
- 企業活動マップ
 - 海外取引・研究開発など
- まちづくりマップ
 - 建物利用状況など
- 雇用/医療・福祉マップ
 - 医療・介護需給など
- 地方財政マップ
 - 自治体財政状況の比較など

※リリース当初の「観光マップ」のまちづくりに関するメニューが「まちづくりマップ」へ派生。

※「自治体比較マップ」が「産業構造マップ」、「企業活動マップ」、「雇用/医療・福祉マップ」、「地方財政マップ」へ派生。

※産業構造マップは一次産業を拡充。

※観光マップはインバウンド分析を拡充

2019年～ 利用支援機能搭載

<新設3機能>

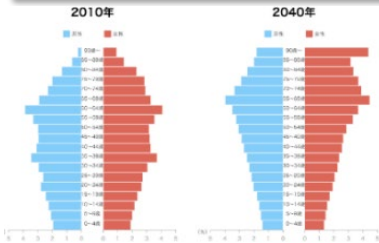
- サマリー機能
 - 地方公共団体単位でサマリーを表示。
- データ分析支援機能
 - 分析テーマに沿った代表的な分析画面を抽出。
- チャットボット機能
 - RESASの使い方や用語について、簡易に検索。

RESASの各種マップ

①人口マップ

拡充

人口推計・推移、人口ピラミッド、転入転出などが地域ごとに比較しながら把握可能に



②地域経済循環マップ

新規

自治体の生産・分配・支出におけるお金の流入・流出が把握可能に

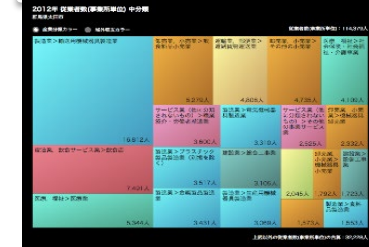


③産業構造マップ

拡充

売上や雇用で地域を支える産業が把握可能に

地域の製造業、卸売・小売業、農林水産業の構造が把握可能に

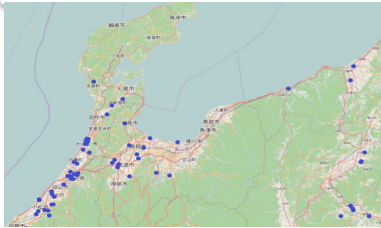


④企業活動マップ

新規

地域の創業比率や黒字赤字企業比率が把握可能に

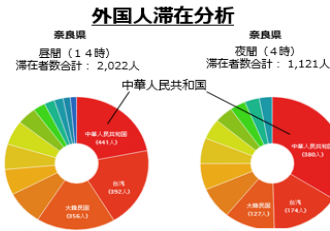
地域の特許や補助金採択企業の分布が把握可能に



⑤観光マップ

拡充

国籍別の外国人の滞在状況などのインバウンド動向や、宿泊者の動向などが把握可能に

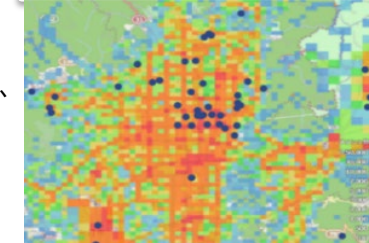


⑥まちづくりマップ

新規

人がどこに多く集まるのか、いつ集まっているのか把握可能に

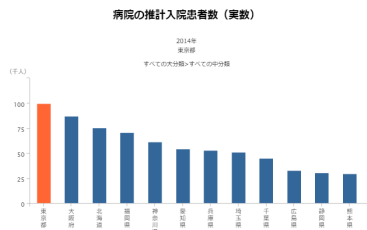
事業所の立地動向や不動産取引の状況などまちづくりの検討材料が取得可能に



⑦雇用/医療・福祉マップ

新規

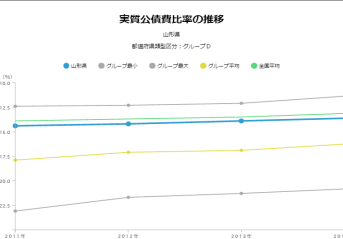
地域の雇用や、医療・介護を需要面や供給面から把握可能に



⑧地方財政マップ

新規

各自治体の財政状況が比較可能に



着実な利用の拡大

2015年度：約358万PV
約42万ユーザー

2019年度：約715万PV
約68万ユーザー

地域での活用事例も拡大

<旧 (リリース時) > “4つのマップ” 【メニュー】

1. 産業マップ

1-1 全産業花火図 ※

1-2 産業別花火図 ※

1-3 企業別花火図 ※

(参考) 地域経済分析 (都道府県・経済圏)

2. 人口マップ

2-1 人口構成

2-2 人口増減

2-3 人口の自然増減

2-4 人口の社会増減

2-5 将来人口推計

3. 観光マップ

3-1 メッシュ分析 (流動人口)

3-2 From-to分析 (滞在人口)

3-3 滞在人口率

4. 自治体比較マップ

4-1 経済構造

4-1-1 企業数

4-1-2 事業所数

4-1-3 製造品出荷額等

4-1-4 付加価値額

4-1-5 労働生産性

4-2 企業活動

4-2-1 創業比率

4-2-2 黒字赤字企業比率

4-2-3 従業者数

4-2-4 経営者平均年齢 ※

4-3 労働環境

4-3-1 有効求人倍率

4-3-2 一人当たり賃金

4-4 地方財政

4-4-1 一人当たり地方税

4-4-2 一人当たり市町村民税法人分

4-4-3 一人当たり固定資産税

※：国および地方自治体の職員が一定の制約の下で利用可能な「限定メニュー」

1. 人口マップ

- 1-1. 人口構成
- 1-2. 人口増減
- 1-3. 人口の自然増減
- 1-4. 人口の社会増減
- 1-5. 新卒者就職・進学
- 1-6. 将来人口推計
- 1-7. 人口メッシュ
- 1-8. 将来人口メッシュ

2. 地域経済循環マップ **新規**

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析
- 2-5. 労働生産性等の動向分析

3. 産業構造マップ **新規**

- <全産業>
 - 3-1-1. 全産業の構造 (一部※)
 - 3-1-2. 稼働力分析
 - 3-1-3. 企業数
 - 3-1-4. 事業所数
 - 3-1-5. 従業者数 (事業所単位)
 - 3-1-6. 付加価値額 (企業単位)
 - 3-1-7. 労働生産性 (企業単位)
- <製造業>
 - 3-2-1. 製造業の構造
 - 3-2-2. 製造業の比較
 - 3-2-3. 製造品出荷額等
- <小売・卸売業 (消費)>
 - 3-3-1. 商業の構造
 - 3-3-2. 商業の比較
 - 3-3-3. 年間商品販売額
 - 3-3-4. 消費の傾向 (POSデータ)
 - 3-3-5. From-to分析 (POSデータ)

<農業>

- 3-4-1. 農業の構造
- 3-4-2. 農業産出額
- 3-4-3. 農地分析
- 3-4-4. 農業者分析

<林業>

- 3-5-1. 林業総収入
- 3-5-2. 山林分析
- 3-5-3. 林業者分析

<水産業>

- 3-6-1. 海面漁獲物等販売金額
- 3-6-2. 海面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-3. 海面漁業者分析
- 3-6-4. 内水面漁獲物等販売金額
- 3-6-5. 内水面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-6. 内水面漁業者分析

4. 企業活動マップ **新規**

<企業情報>

- 4-1-1. 産業間取引 (※)
- 4-1-2. 企業間取引 (※)
- 4-1-3. 表彰・補助金採択
- 4-1-4. 創業比率
- 4-1-5. 経営者平均年齢 (※)
- 4-1-6. 黒字赤字企業比率
- 4-1-7. 中小・小規模企業財務比較

<海外取引>

- 4-2-1. 海外への企業進出動向
- 4-2-2. 輸出入取引
- 4-2-3. 企業の海外取引額分析

<研究開発>

- 4-3-1. 研究開発費の比較
- 4-3-2. 特許分布図

凡例

下線: リリース当初から追加したメニュー
赤字: 民間データ利用
(※): 限定メニュー

5. 観光マップ

<国内>

- 5-1-1. 目的地分析
- 5-1-2. From-to分析 (宿泊者)
- 5-1-3. 宿泊施設

<外国人>

- 5-2-1. 外国人訪問分析
- 5-2-2. 外国人滞在分析
- 5-2-3. 外国人メッシュ
- 5-2-4. 外国人入出国空港分析
- 5-2-5. 外国人移動相関分析
- 5-2-6. 外国人消費の比較 (クレジットカード)
- 5-2-7. 外国人消費の構造 (クレジットカード)
- 5-2-8. 外国人消費の比較 (免税取引)
- 5-2-9. 外国人消費の構造 (免税取引)

6. まちづくりマップ **新規**

- 6-1. From-to分析 (滞在人口)
- 6-2. 滞在人口率
- 6-3. 通勤通学人口
- 6-4. 流動人口メッシュ
- 6-5. 建物利用状況
事業所立地動向
- 6-6. 施設周辺人口
- 6-7. 不動産取引

7. 雇用/医療・福祉マップ **新規**

- 7-1. 一人当たり賃金
- 7-2. 有効求人倍率
- 7-3. 求人・求職者
- 7-4. 医療需給
- 7-5. 介護需給

8. 地方財政マップ **新規**

- 8-1. 自治体財政状況の比較
- 8-2. 一人当たり地方税
- 8-3. 一人当たり市町村民税法
- 8-4. 一人当たり固定資産税

①人口マップ (例：UIターン施策の検討)

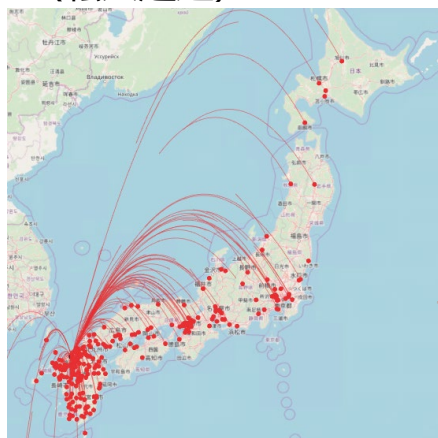
○自治体の転入・転出の状況に関連するデータを分析し、転出の多い地域や年齢、性別などを把握することで、より効果的なUIターン施策を検討することができる。出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

Q. 2019年における福岡県福岡市の転入超過、転出超過が一番多いのはどこでしょうか？

A. ①まずは花火図で視覚的に確認。

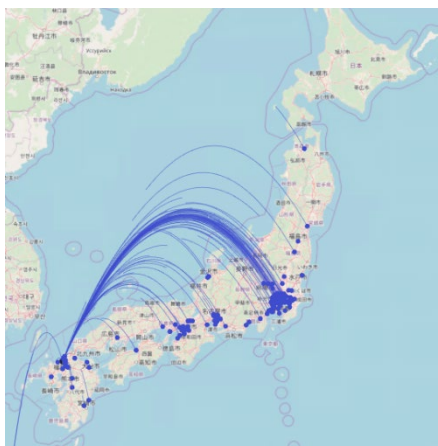
②ではどれくらい多いかグラフで見てください。

(転入超過)



九州内からの転入超過が多い。

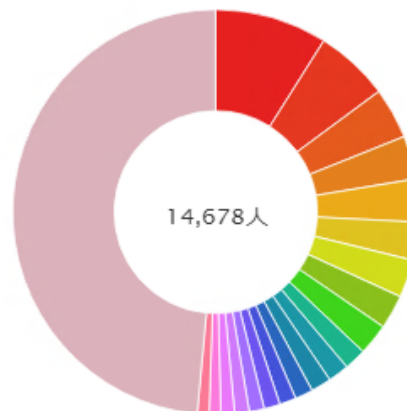
(転出超過)



首都圏への転出超過が多い。

転入超過数内訳

総数

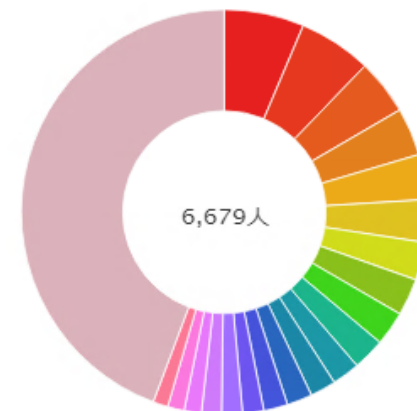


- 1位 福岡県北九州市 1,313人 (8.95%)
- 2位 長崎県長崎市 866人 (5.90%)
- 3位 熊本県熊本市 599人 (4.08%)
- 4位 長崎県佐世保市 505人 (3.44%)
- 5位 鹿児島県鹿児島市 504人 (3.43%)
- 6位 福岡県久留米市 446人 (3.04%)
- 7位 大分県大分市 445人 (3.03%)
- 8位 佐賀県佐賀市 399人 (2.72%)
- 9位 宮崎県宮崎市 368人 (2.51%)
- 10位 広島県広島市 257人 (1.75%)

上位9位までは九州内。

転出超過数内訳

総数



- 1位 福岡県糸島市 425人 (6.36%)
- 2位 福岡県福津市 388人 (5.81%)
- 3位 埼玉県さいたま市 295人 (4.42%)
- 4位 大阪府大阪市 256人 (3.83%)
- 5位 東京都練馬区 240人 (3.59%)
- 6位 神奈川県川崎市 227人 (3.40%)
- 7位 神奈川県横浜市 201人 (3.01%)
- 8位 東京都世田谷区 198人 (2.96%)
- 9位 東京都大田区 183人 (2.74%)
- 10位 福岡県新宮町 171人 (2.56%)

九州外も多くランクイン。

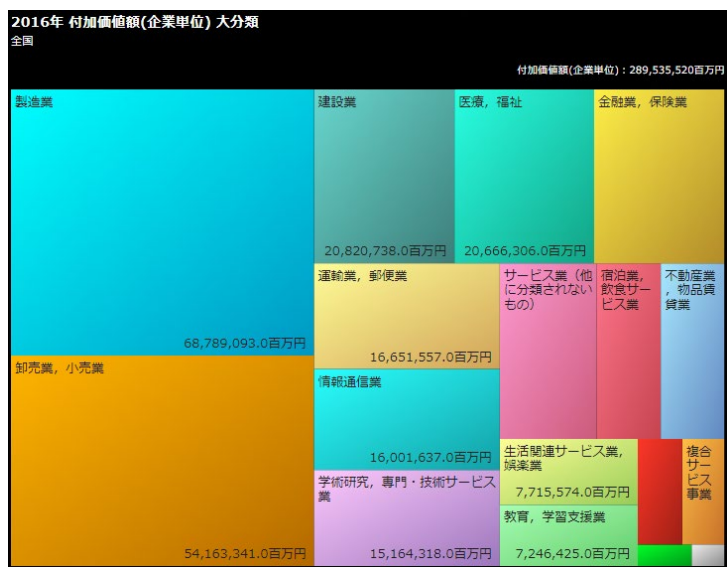
②産業構造マップ°（例：地域の稼ぐ力を分析する）

○地域ごと各産業の付加価値額について、特化係数を用いることで、強みのある産業を分析することができる。

※特化係数：域内のある産業の比率を全国の同産業の比率と比較し、1.0を超えると全国よりも特化している産業と言える。

Q. 日本国内の産業でもっとも付加価値額を生み出している産業とその都道府県はどこでしょうか？

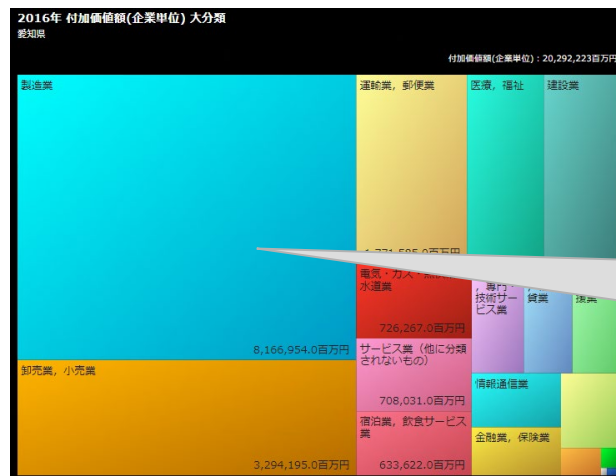
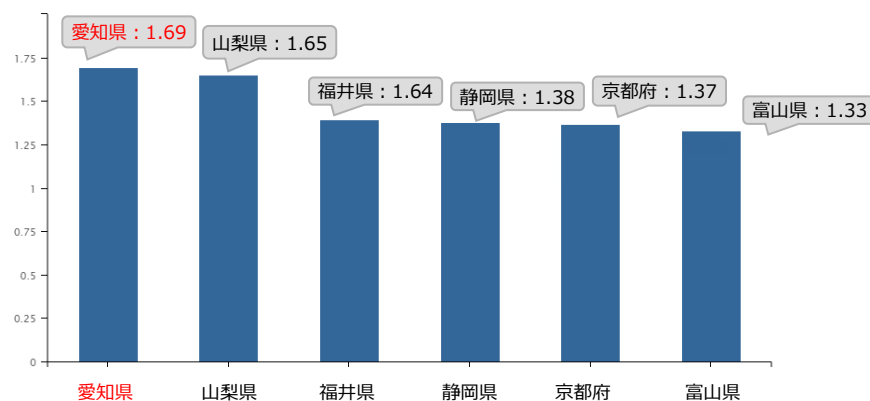
A. ①まずは全国の製造業の付加価値額を確認。



やはり**製造業**がもっとも付加価値額が高い。

②次に製造業の付加価値額の特化係数を確認。

都道府県別分布（全国）



愛知県の製造業の付加価値額は、日本の製造業の付加価値額の約**12パーセント**を占めている。

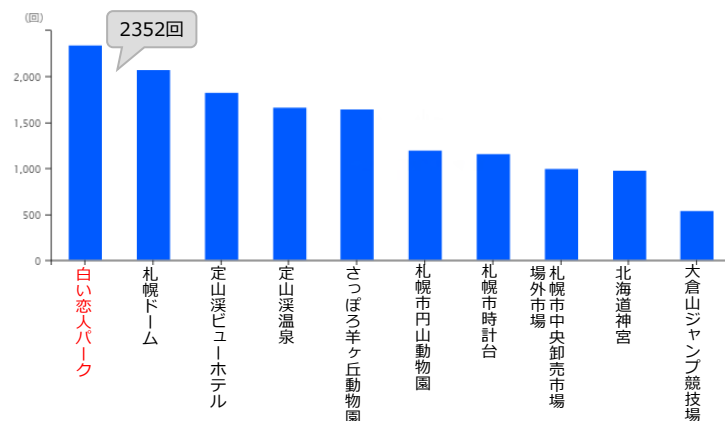
③では最も特化する愛知県の付加価値額を確認。

③観光マップ (例：目的地の検索数で分析)

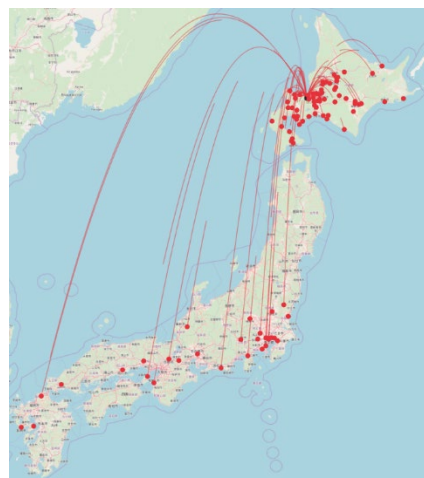
○観光地の検索回数や出発地を分析することで、どの観光施設やどの地域に対して観光PRを重点的に展開するべきかの検討に活用することができる。出典：株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

Q. 2018年中の休日に北海道札幌市で最も検索されたところはどこでしょうか？

A. ①まずは自動車で見てください。



②次にどこから来ているか見てみましょう。

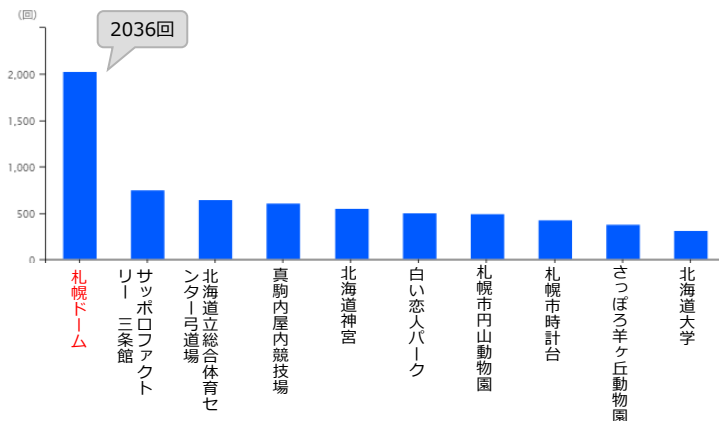


※2018年度

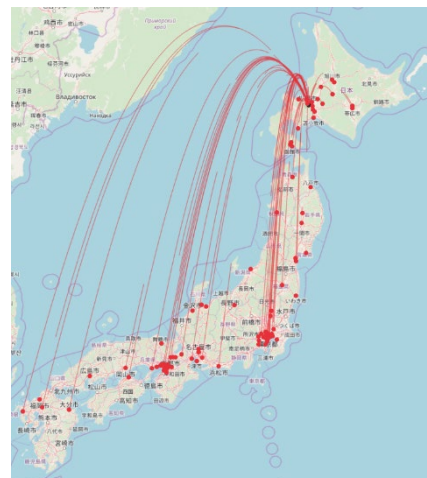
考察

- 北海道は自動車社会？
- 近くに公共交通がない？
- 近距離からの検索が多いので車での周遊観光の一環？

③続いて公共交通で見てください。



④今度どこから来ているか見てみましょう。



※2018年度

考察

- 目的は野球？サッカー？コンサート？
- 東京や大阪からの来訪者（検索数）が多い？

④まちづくりマップ (例：事業所の立地動向を分析する)

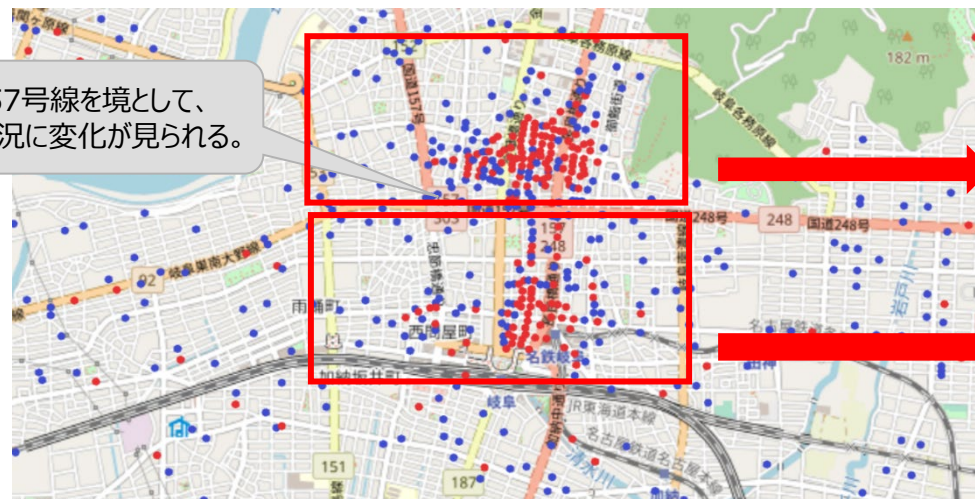
○電話帳に搭載されている事業所を産業分類別に表示することで、任意のエリアにおける事業所の集積状況を把握することができる。 出典：日本ソフト販売株式会社「電話帳データ」

Q. 2018年の岐阜駅周辺の飲食店はどのように立地しているでしょうか？

A. ①飲食店という分類で事業所の立地を確認。

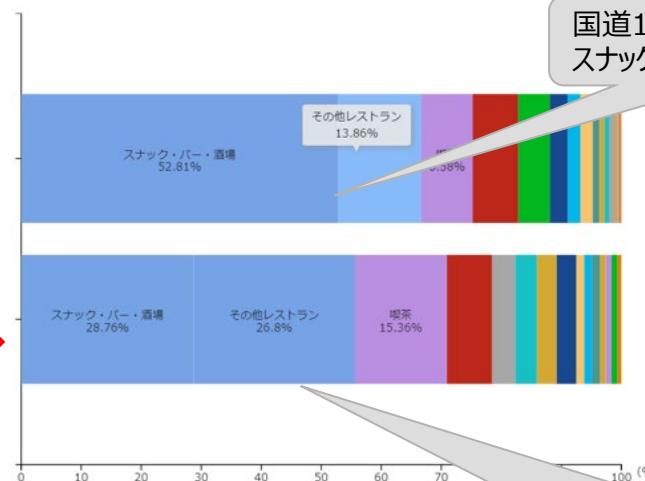
②飲食店の内訳をみてみましょう。

国道157号線を境として、立地状況に変化が見られる。



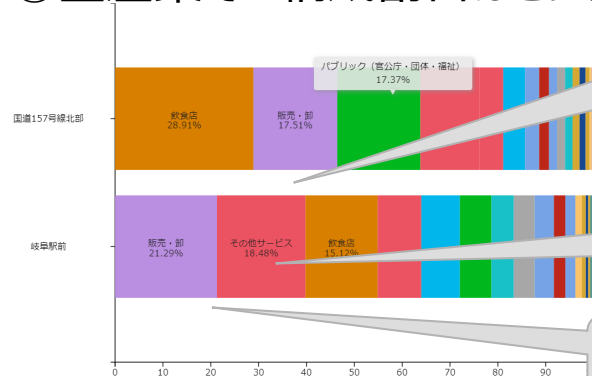
※ 青丸：同一地点に事業所が1者、赤色：同一地点に事業所が複数者

国道157号線を境に、スナック・バーが半数を占める。



駅前では、スナック・バーとレストランが同じくらいの割合で立地している。

③全産業での構成割合はどうなっている？



国道157号線北部の、産業別構成割合では飲食店が1位。一方で駅前では3番目になる。

飲食より、理容・美容などを含む、その他サービスの割合が大きい。

岐阜駅前で最も構成割合が大きいのは、販売・卸である。(衣料品店等)

考察

- お酒を飲む場所が多いのは、国道157号を越えたところまで行くのがよい？
- 新規企業の出店の検討に同業種の立地状況もさることながら、関連業種や、競争業種の立地動向も調べることができる？
- 事業所が存在しない空白地域にも進出の可能性はある？

RESAS利用支援機能_①サマリー

- RESASに搭載されているデータやグラフについて、**テーマに応じたサマリー（概要）を地方公共団体単位でダウンロード**できる機能。他地域との合算や比較も可能。※一部合算されないグラフあり

【サマリー機能>表示地域・サマリーデータを選択】



【作成可能なサマリーデータ】

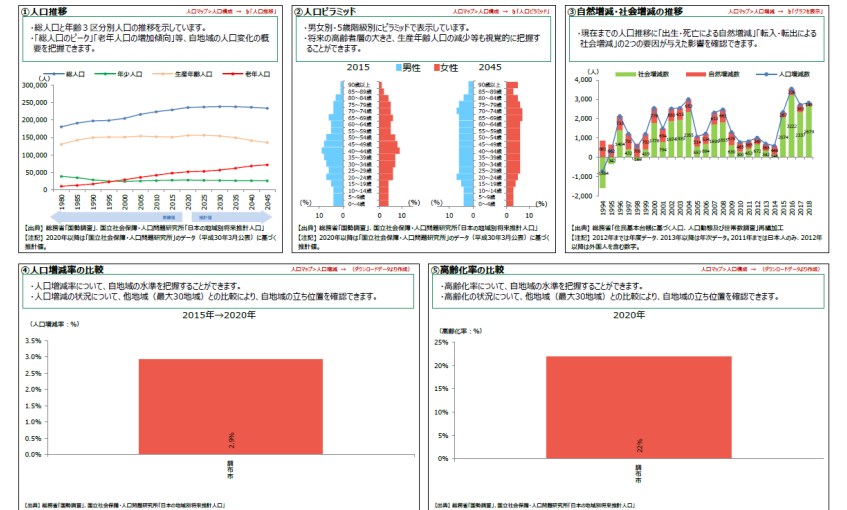
○総論

- ◆人口(人口の推移を年齢階級)別に概観)
- ◆産業(産業に関する傾向を、事業所数、従業者数の推移や、構成比等により概観)

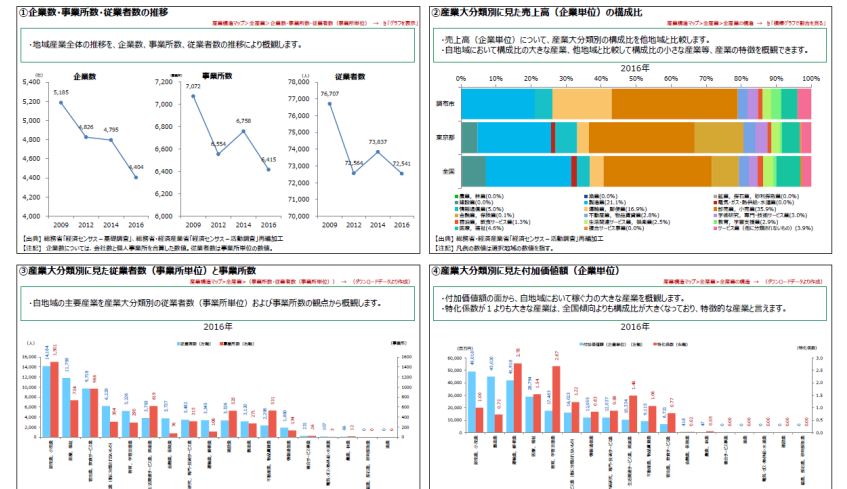
○各論

- ◆人口増減・地域間流動(転入転出、通勤通学等による人口流動を概観)
- ◆産業特性(地域の各産業の特徴を、規模・稼働力等の側面から概観)
- ◆観光(観光客の状況を、訪問客数・消費額等の観点から概観)
- ◆雇用(一人あたり賃金や、有効求人倍率等から、地域の雇用の特徴を概観)
- ◆医療・福祉(医療数・病床数・介護施設数等の供給水準の面から地域の特徴を概観)
- ◆地方財政(各種財政指標等から地方財政の特徴を概観)

総論① 人口 地域を考慮する基礎的な条件となる人口について、年齢階級別に推移を概観します。 東京都調布市



総論② 産業 地域産業に関する全体的傾向を、事業所数、従業者数、産業大分類別構成比等により概観します。 東京都調布市



RESAS利用支援機能_②データ分析支援

- RESASに搭載されている多くのデータや分析グラフの中から、**分析テーマに沿った代表的な分析画面を抽出して順に表示**。各画面には、グラフの見方等、分析を支援するためのコメントも表示。

【データ分析支援機能>分析対象自治体を選択>分析テーマを選択】

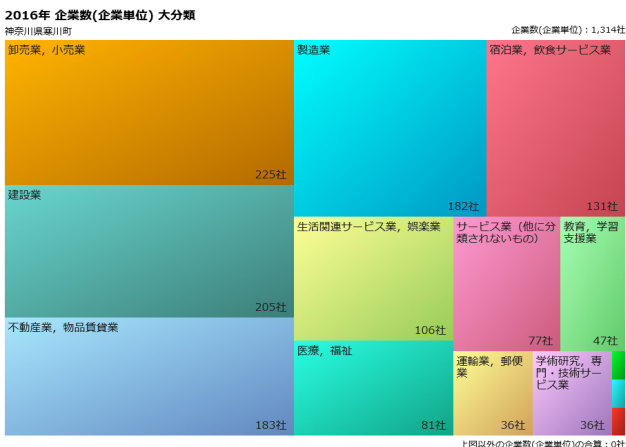


【分析テーマ】

- 人口対策
- 第二次産業・第三次産業
- 外国人観光客

(他のテーマについては検討中)

第二次産業・第三次産業における分析

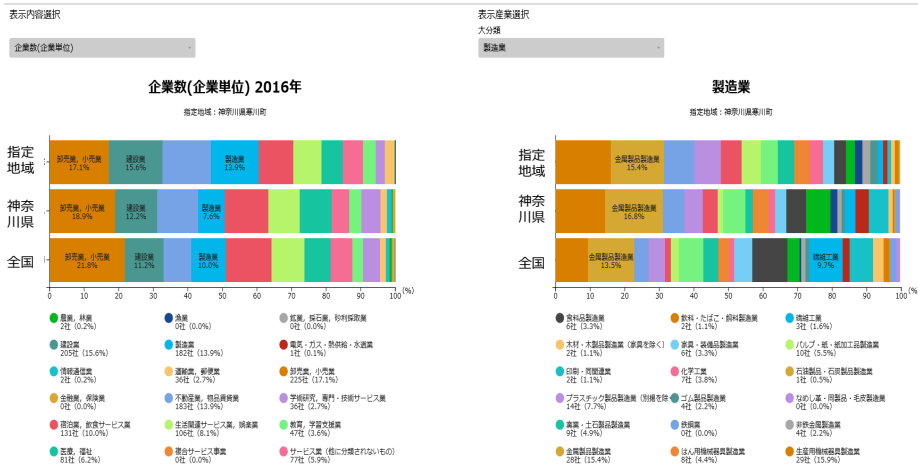


- ①全産業の全体像
指定地域における、以下の産業別割合を表示。
〈企業単位〉
- 企業数
 - 従業者数
 - 売上高
 - 付加価値額
- 〈事業所単位〉
- 事業所数
 - 従業者数

自地域の経済を支える主要産業等を特定することができます。

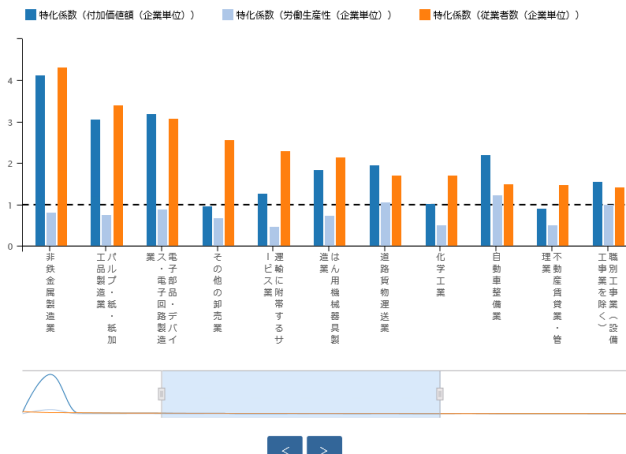
②全産業の構造

分析指定地域の企業数や従業者数、付加価値額の産業別の割合について、全国の割合等と比較ができます。



産業別特化係数 2016年

指定地域: 神奈川県厚木市



③稼ぐ力分析

産業ごとの特化係数を確認でき、地域で強みのある産業を特定することや産業ごとの課題把握に役立てることができます。

※特化係数
域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業といえる。

RESAS利用支援機能_③チャットボット

- RESASの8マップ⁸81メニューの使い方等、RESASで使用されている用語の説明について、いつでも簡易に検索が可能。
- ご意見・ご要望の投稿も可能とし、ユーザーの声を機能改善に反映。
- 搭載Q&Aの見直し・追加を定期的に行うこととし、ユーザー利便性の向上を進める。

The screenshot shows the RESAS website interface. At the top right, there is a navigation bar with icons for '投票モデル' (Voting Model), 'ダッシュボード' (Dashboard), 'データ分析支援' (Data Analysis Support), 'サマリー' (Summary), and 'ヘルプ' (Help). A chat icon labeled '問合せ' (Inquiry) is highlighted with a red box. Below the chat icon, a chatbot window is open, displaying a greeting 'こんにちは!' (Hello!) and three menu options: '1. マップについて聞く' (Ask about maps), '2. 用語について聞く' (Ask about terms), and '3. ご意見・ご要望' (Feedback and requests). The chatbot window is also highlighted with a red border. The background of the website shows the RESAS logo and the text 'Regional Economy Society' and '地域経済分析' (Regional Economic Analysis).